

行 政 報 告

第4回町議会定例会の開催にあたり、日頃からの町政運営に対する議員各位のご協力に対し、心から感謝とお礼を申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の影響により、地方財政は例年にも増して厳しい状況にありますが、計画した各種施策や事業等は、みなさんのご理解とご協力のもと、順調に進めさせていただいております。引き続き、本年度の残された行政課題の解決に努めてまいりますので、一層のご高配を賜りますようお願い申し上げ、行政報告に移らせていただきます。

はじめに、町職員の不祥事についてご報告いたします。

この度の消防職員及び建設課職員による不祥事に関し、町議会をはじめ町民のみなさまに多大なるご心配・ご迷惑をおかけいたしましたことを、心より深くお詫び申し上げます。

消防本部の50代職員につきましては、本年10月20日、女子中学生に対する北海道青少年健全育成条例違反の容疑で八雲警察署に逮捕され、これを受け、本人に対し事情聴取を行ったところ、容疑に間違いがないことを認めました。このことは、全体の奉仕者として公共の利益のために勤務し、社会規範が強く求められる地方公務員としてあるまじき行為であり、地方公務員法等に照らし、11月20日付けで停職6ヶ月間の懲戒処分といたしました。

また、建設課の30代職員につきましては、本年11月10日に町営住宅の新規入居手続のため神社下団地を訪れた際、個人情報記載された住宅配置図ファイルを集合郵便受け上部に置き忘れ、3日後に入居者の発見により回収となったものであります。

この度の行為が、町に対する信頼を大きく傷つける結果となり、議会をはじめ、町民のみなさまに対し、改めて深くお詫び申し上げますとともに、本町の行政を管理監督する立場にある者としての責任を重く受け止め、私と副町長の給料を減額いたしたく、関係条例を本定例会に提案いたしております。

今後とも職員一丸となり職務に精励し、町民みなさまの信頼に応えてまいる所存でありますので、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

次に、東京理科大学関係について申し上げます。

令和2年7月に発生した町内字平里の天然ガス施設にある温泉坑井コンプレッサー破損により、今まで理科大長万部キャンパスに送られていた温泉水の供給が停止している状態となっております。

現在、学生が不在であることから直接的な影響は少ない状況とはいえ、このような事態となったことについて、先日理科大側に正式に報告したところであります。

本来、温泉水無償供給契約に基づき理科大へ温泉水を無償により供給することとなっており、供給停止する事態となったときは、速やかに復旧に努めるとの規定になっておりますが、復旧には多額の費用を要するため、現在は見通しが立たない状況となっております。

このような状況から、本町といたしましては、理科大側が不利益とならないよう、当面の対応について、現在協議を進めているところであります。

なお、今後の対応につきましては、温泉法や鉱山保安法等を所管する関係機関との調整協議を行い、今後の費用対効果等も考慮するとともに、様々な方策による温泉水供給の可能性についても調査検討を進めてまいります。

次に、第4次長万部町まちづくり総合計画について申し上げます。

第4次長万部町まちづくり総合計画は、現在、基本構想がほぼ完了し、基本計画の内容について、庁内プロジェクトチーム会議とまちづくり推進会議で調整を行っているところであります。

また、総合計画の基本構想につきましては、平成23年度の地方自治法改正により、地方自治体の策定義務が無くなっておりますが、引き続き個々の自治体の判断で、地方議会の議決を経て基本構想の策定を行うことが可能である旨の通知が出されていることから、この通知に基づき、総合計画が本町における最上位計画である重要性を踏まえ、条例を根拠にした基本構想を策定するため、本定例会に条例を提案いたしております。

次に、北海道新幹線関係について申し上げます。

現在、町内では5つのトンネル工事が施工中であり、12月1日現在において、掘削中の立岩トンネルのルコツ工区では、本坑5,000メートルのうち延長2,105メートルが、豊津工区では2,060メートルのうち251メートルが掘削されており、また、内浦トンネルの静狩工区は、本坑5,570メートルのうち延長1,136メートルが掘削されております。また、残る豊野トンネル工事、国縫トンネル工事についても11月12日に安全祈願が執り行われ、現在、すべてのトンネルで掘削が開始されているところであります。

次に、地域会館関係について申し上げます。

北海道新幹線建設工事に伴い、新開寿の家が支障物件となることや、各施設の老朽化、また人口減少による課題などにより、公共施設等ストックマネジメント計画策定に向けた検討を行い、新開寿の家と南栄町老人憩の家を統合した中規模の集会施設を新築する計画を進めることといたしました。

新しい施設は令和4年度の完成を予定しておりますので、設計に係る費用について、本定例会に補正予算を提案いたしております。

次に、生活環境関係について申し上げます。

本年4月から10月までの渡島廃棄物処理広域連合の焼却施設に排出した長万部町の可燃ごみの量は、約949トンで、前年度同期と比較し、約58トン減少しております。

また、ごみ減量化の一環として実施しております衣類の無料回収は、役場窓口での随時受付と5月の巡回地域回収を実施し、今年度は10月末で210 kilogramsの衣類を回収いたしました。

廃食用油は、今年度も役場・福祉センター・各会館のごみステーションに無料回収ボックスを設置して、現在までに680リットルを回収しており、使用済小型家電についても、同じく役場庁舎内の無料回収ボックスで、440 kilogramsを回収しております。

町民のみなさまには、今後ともごみの減量化やリサイクルへのご協力をお願いいたします。

次に、新型コロナウイルス感染症の対応について申し上げます。

これまで、長万部町新型コロナウイルス感染症対策本部において、町内の感染対策について検討・実施しており、庁舎内での情報共有、町広報や庁舎内掲示物、ホームページ、防災ラジオを活用し、町民のみなさまに感染対策について周知してまいりました。

10月以降北海道内で感染が拡大し、11月に入り渡島管内においても感染者が急増したため、更なる感染拡大が懸念されたことから、より一層の感染防止対策の実践の徹底を呼びかけるため、渡島総合振興局長と管内市町長との共同メッセージを発出いたしました。

町民のみさまには、一人ひとりの感染防止対策の実践を徹底していただくとともに、感染した方や対策に携わった方々等に対する思いやりをもった行動を心からお願い申し上げます。

また、国では、今般の新型コロナウイルスワクチンは、現時点でその特性や効果が確立しておらず、開発や生産に関して不確定な要素もあるため、接種開始の時期を具体的に見定めることは困難な状況にあるとしておりますが、一方で、速やかに住民に接種するための準備を進めていく必要があるとしていることから、予防接種台帳システムの改修に要する費用について、本定例会に補正予算を提案いたしております。

なお、ワクチン接種に係るその他関連費用につきましては、接種開始時期が確定した時点で予算計上してまいりたいと考えております。

次に、高齢者のインフルエンザ予防について申し上げます。

今年度は、高齢者の方の接種を優先に実施してまいりましたが、11月末現在で992人から申請がありました。

今後も感染症予防のため、手洗い・マスクの着用、3密回避などの感染対策の徹底について周知してまいります。

次に、町民の健康増進等について申し上げます。

健康づくりの推進につきましては、コロナ禍の中、感染対策を図りながら健診などの保健事業を実施しております。

特定健診やがん検診では、受診率向上のため無料クーポン券の発行や個別通知による勧奨を継続して実施しております。

幼児や生徒を対象とした健康教室では、10月に長万部高等学校で命についての授業を、11月には町内の幼稚園、保育所で歯磨き教室を行っております。

新型コロナウイルス感染症の流行が続いておりますが、今後も感染対策をしながら健康づくりを進めてまいります。

次に、高齢者福祉関係について申し上げます。

地域敬老会につきましては、本年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、地域敬老会の開催の代替として記念品等を配布していただくことにより、高齢者の長寿を祝福し、社会に貢献した労をねぎらっていただくよう各町内会等へお願いしていたところ、対象者1,277人に対し26地域で1,147人の方へ配布していただきました。

来年度には、コロナウイルス感染症が収束し、例年どおり各地域で開催できることを願っております。

また、長寿のお祝いと社会貢献へのお礼をこめて、9月12日から21日までの10日間、町内にある公衆浴場について助成を行い、無料開放を実施したところ、1,130人が利用されました。

老人福祉センターは、温泉供給設備故障のため入浴施設の利用を中止しておりますが、復旧の目途が立っていないことから、回数券を購入された利用者みなさまに、現在、使用料の返還手続を行っております。

次に、冬期福祉給付金(福祉灯油)について申し上げます。

本格的な冬に向かい、灯油料金、電気料金の高止まり及び新型コロナウイルス感染症の拡大防止に伴う外出等の自粛による灯油等の増嵩に鑑み、高齢者や障がい者等で低所得の状況にある方に灯油購入費等の一部を助成し、経済支援を行うことで在宅福祉の向上及び感染リスクの低減を目的に、前年度と同様に冬期福祉給付金事業を実施するため、本定例会に補正予算を提案いたしております。

次に、農業関係について申し上げます。

家畜の主たる飼料作物の牧草やサイレージ用トウモロコシは、大きな天候の崩れもなく、おおむね平年並の収量を確保している状況であります。

生乳生産量は、４月から９月まで約４，７０６トンを出荷し、前年に比べ約３４０トンの減となり、乳代は約４億５，７９７万円で、前年に比べ約１８４万円の減となっております。

黒毛和牛の４月から９月までの販売頭数は１３１頭、販売金額は８，４８９万４千円で、前年同期と比較して、販売頭数は４頭の減で、販売金額は、１，７７３万４千円の減となりました。また、牛の個体販売価格の下落に伴う、経営の安定化を図るための畜産経営安定化対策補助は１０月３０日に完了しております。

牧野関係は、生産コストの低減と酪農経営の安定を図るため、公共牧場運営事業を実施しておりますが、１０月２３日に下牧が完了しております。

この間の入牧延べ頭数は６７，４２２頭で、前年に比べ２，７２５頭の増となりました。

新規就農者対策としては、新型コロナウイルス感染拡大を防止するため小規模での開催となりましたが、９月６日に函館市で開催されました第４回おしま農業のお仕事フェアにて、ポスターやパンフレット等を展示し、長万部町のＰＲや就農への情報発信を実施いたしました。

次に、林業関係について申し上げます。

町有林一般造林事業は、共立地区にて地拵・植栽事業を３ヘクタール実施し、１０月３０日に完了しております。

また、森林整備センターとの分収造林事業は、豊津地区にて作業道修繕工事を１，２００メートル実施し、１０月２９日に完了しております。

次に、漁業関係について申し上げます。

本町のホタテ貝養殖漁業での１１月末現在の種苗の生育状況は、へい死・変形等は平年に比べ少なく、順調に生育しておりますが、春の耳吊り

時期までの生育状況を渡島北部地区水産技術普及指導所等、各関係機関と連携し、調査を行う予定となっております。

また、成貝は例年どおり12月中の出荷を予定しております。

国のアイヌ政策推進交付金事業にて行った、ホタテ貝稚貝管外移入作業は、本年11月末までに終了しております。

本年の秋鮭漁は、11月19日現在、漁獲量は約339トンで、前年に比べ約117トンの減となっておりますが、漁獲金額は単価上昇により約2億5,084万円で、前年に比べ約2,719万円の増となっております。

次に、商工観光関係について申し上げます。

中小企業の業況は、原材料価格の上昇や人手不足への懸念、更にはコロナ禍における消費減少など、中小企業を取り巻く環境は依然として厳しい状況が続いており、中小企業の健全育成と経営安定のため、国や道の様々な金融支援に対し、関係機関と連携し、町としての認定窓口等の設置を行っております。

また、長万部商工会では、会員の高齢化や後継者不足などにより、会員数が衰退傾向にあることから、地域活性化を図るため、一昨年度から後継者対策を含む経営改善等の支援を実施しており、本年度は19事業者が申請し、そのうち13事業者が採択となり、経営改善に努めております。

上期の観光客入り込み数は、新型コロナウイルス感染症流行の影響により、昨年度の約29万2千4百人に対し、本年度は約7万6千2百人と、73.9パーセントの大幅な減少となりました。

昨年、町内の主要団体を構成員に発足した「長万部町観光地域づくり協議会」では、コロナ後の観光コンテンツ造成を目指し、屋内体験から密を避けることが可能な屋外体験への移行を模索するため、モニタリングを実施し、通過型観光客を取り込む受入体制強化に努めております。

また、観光客誘致事業は、新型コロナウイルス感染症流行により、サッポロビアガーデンふるさとPRステージやオータムフェストなど、参加を予定していた殆どのイベントが中止となっております。

次に、労政関係について申し上げます。

本年度も季節労働者の労働環境向上のため、渡島檜山北部通年雇用促進支援協議会を中心として、雇用相談や求人情報の提供、技能研修などを通して、通年雇用に向けた支援を行っております。

次に、消費者相談関係について申し上げます。

近年、悪質商法や訪問押し買い詐欺、料金不正請求、宅配便業者を装った不在通知の偽SNSによる個人情報不正入手など、次々と新しい手口による消費者問題が多く発生しており、消費者の安全確保についての苦情相談や住民に対して必要な情報提供を行うため、全国消費者生活情報ネットワークを活用して、全国の最新苦情相談情報を収集しております。

今後、ますます巧妙化する手口への対応が必要とされる中、専門研修参加等により相談担当職員の資質向上を図り、消費者啓発セミナーの開催、関連する部署間の情報交換や町広報での消費者の安全確保に関する情報周知を継続して行い、住民の消費者生活被害予防に努めてまいります。

次に、建設関係について申し上げます。

道路維持関係では、町道中山大通線外舗装補修工事及び管内道路排水等清掃業務は、それぞれ工期内に完成しております。

土木事業では、豊津地区の普通河川に堆積した土砂を除去するための普通河川北豊津川維持工事につきましては、12月28日までの工期で実施中であります。

国の社会資本整備総合交付金を活用して実施する、長万部町橋りょう点検調査業務委託は、令和3年1月29日までの工期で、また、北海道縦貫自動車道を跨ぐ橋りょうの点検については、東日本高速道路株式会社と協定を結び、令和3年2月28日までの工期で実施中であります。

住宅関係では、北海道新幹線建設に伴う町営住宅南部団地仮移転先の借り上げ住宅に係る修理工事は、令和3年2月26日までの工期で施工中であります。

また、南部団地の入居者のうち、既存の町営住宅へ仮移転される方につきましては、順次、転居が完了しております。なお、この仮移転先の町営住宅に係る修繕費の増嵩により、不足する住宅修理費の補正予算を本定例会に提案いたしております。

住宅料滞納者に係る住宅明け渡し訴訟につきましては、9月11日に八雲簡易裁判所において住宅明け渡しの判決が下され、11月4日には函館地方裁判所執行官による明け渡しの強制執行が行われました。

建築事業では、町営住宅火災報知器更新工事及び町営住宅中部団地階段手すり設置工事は、それぞれ工期内に完成しております。

その他、各公共施設や町営住宅の修繕工事につきましては、計画的に実施しております。

除雪関係では、協同組合長万部町建設協会と11月5日に本年度の除雪に関する委託契約を締結し、町道や公共施設等の除雪作業を実施してまいります。

公園事業では、今年度のあやめ公園パークゴルフ場の利用は、11月3日で終了いたしました。パークゴルフ場の利用者は3,586人で、新型コロナウイルス感染拡大防止のため休業期間を設けたこともあり、昨年度に比べ、28.8%の減となっております。

また、長万部公園キャンプ場は、新型コロナウイルス感染対策の徹底が困難であることから、今年度の開設を取り止めたところであります。

次に、公共下水道事業について申し上げます。

下水道マンホール蓋交換外修繕工事及び公共下水道汚水1号枝線管渠新設工事は、12月15日までの工期で施工中であります。

次に、ガス事業について申し上げます。

ガス本支管改良工事の大町8番地工区は、9月8日に完了しており、電気防食工区は、令和3年2月26日までの工期で施工中であります。

また、経年本支管対策の天然ガス輸送導管廃止工事は、令和3年1月29日までの工期で施工中であります。

次に、水道事業について申し上げます。

大町地区の配水管布設替工事は、12月15日までの工期で施工中であります。

次に、病院事業について申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の拡大により、11月2日から発熱者外来を設置いたしました。これに伴い、午後の外来診療時間が一部変更となっております。

町民のみなさまには、ご不便をおかけいたしますが、患者間の接触を避けるための措置でありますので、町広報等を確認のうえ受診いただきますよう、ご理解とご協力をお願いいたします。

次に、消防関係について申し上げます。

今年11月末日現在の火災発生件数は5件で、建物が3件、車両が1件、野火が1件発生しております。

救急件数は277件で、うちドクターヘリでの搬送は17件となっており、去年同期と比較し火災が2件の増、救急が31件の増、ドクターヘリ搬送件数は5件の増となっております。

火災予防の事業では、秋の全道火災予防運動期間中、ポスターや「火の用心」の旗を掲示したほか、旅館、大型店舗など不特定多数の方が出入りする施設の防火査察を実施いたしました。

消防団の事業では、10月31日に新入団員3名を対象に教育訓練を実施いたしました。

また、例年1月5日に開催しております消防出初式は、令和3年につきましては、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止することいたしました。

終わりに、本定例会に提案した議案は、条例の制定、一部改正、各会計補正予算など、合わせて14件となっております。

議案上程の都度、担当説明員から説明させますので、よろしくご審議くださるようお願い申し上げます、行政報告を終わります。

